


# 2014年3月期 第2四半期決算説明会



2013年11月26日

「光と電波」情報通信・デジタル家電を支える

株式会社 **昭和真空**

証券コード: 6384 東証JASDAQ



# I 第2四半期決算概況

---



# 第2四半期経営成績の概況 (連結)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



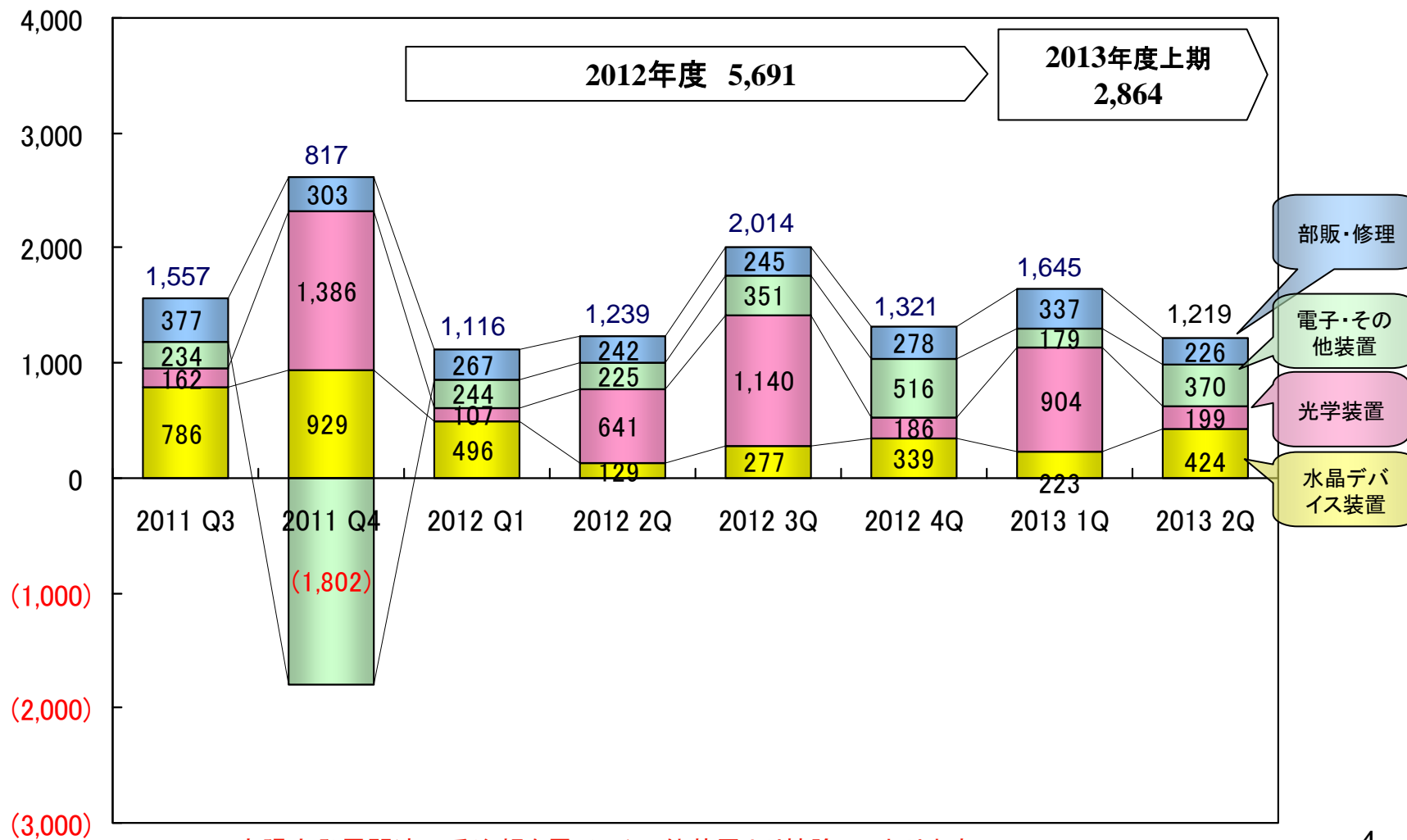
(百万円)	2012年度		2013年度			
	2 Q 実績		2 Q 実績		対前期	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	率
受注高	2,355	—	2,864	—	509	21.6%
売上高	3,643	100.0%	2,321	100.0%	▲1,321	▲36.3%
売上総利益	667	18.3%	324	14.0%	▲343	▲51.4%
販管費	628	17.3%	587	25.3%	▲41	▲6.5%
営業利益	38	1.1%	▲262	▲11.3%	—	—
経常利益	25	0.7%	▲230	▲9.9%	—	—
当期純利益	30	0.8%	▲333	▲14.4%	—	—

# 受注高品目別推移 (四半期、連結)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



(単位:百万円)



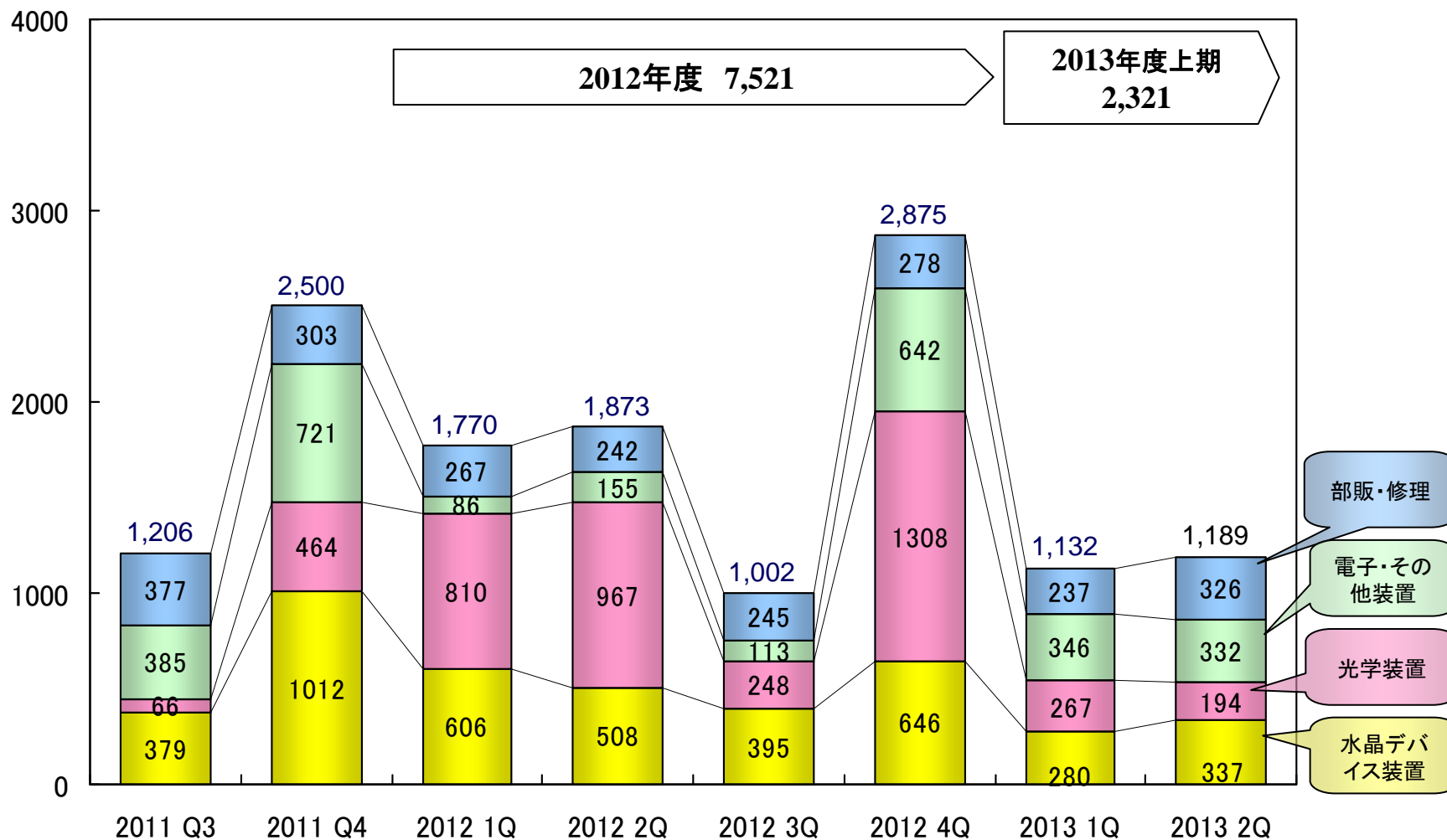
2011Q4に太陽光発電関連の受注額を電子・その他装置より控除しております。

# 売上高品目別推移 (四半期、連結)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



(単位:百万円)

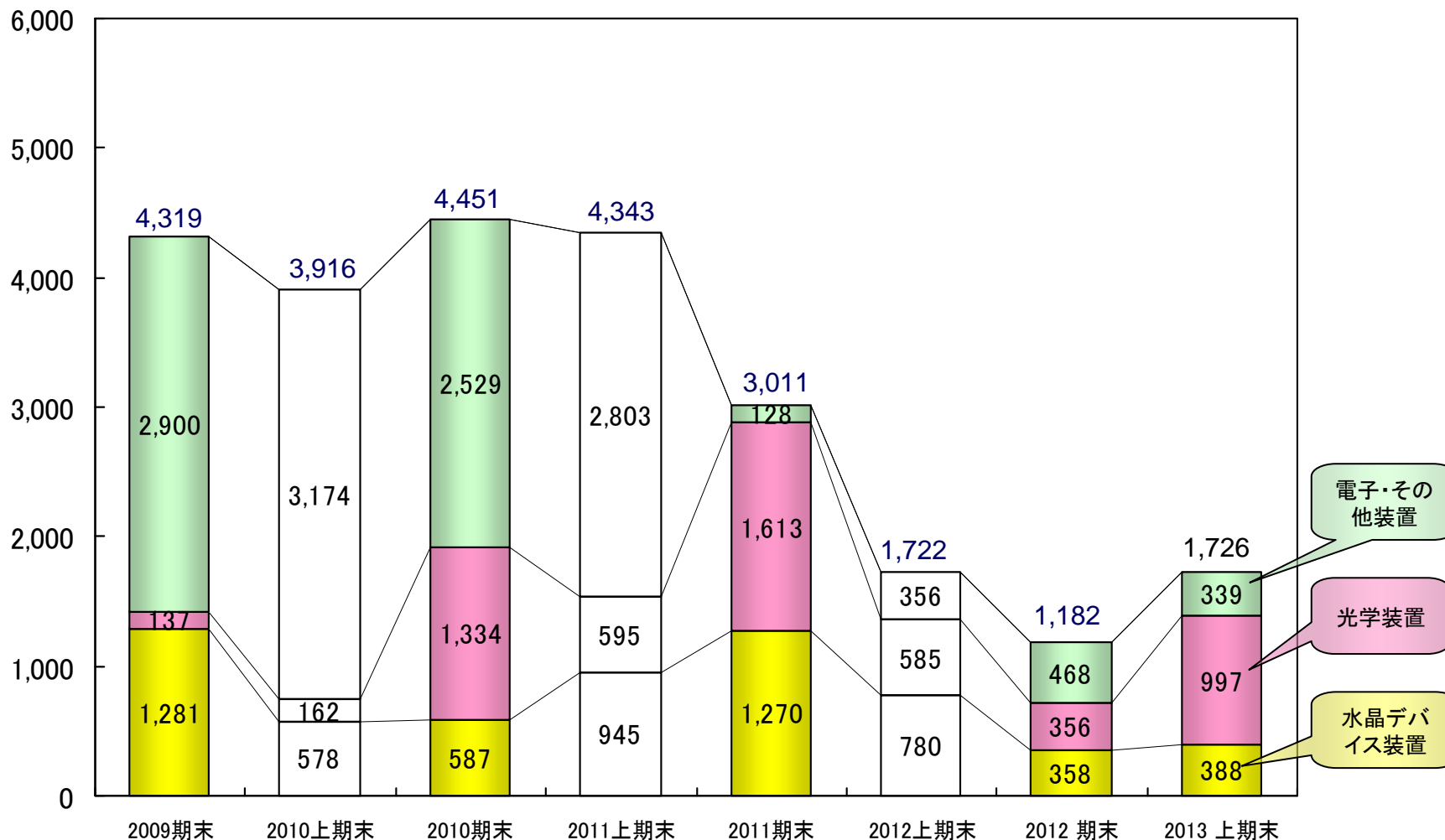


# 受注残品目別推移 (連結)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



(単位:百万円)



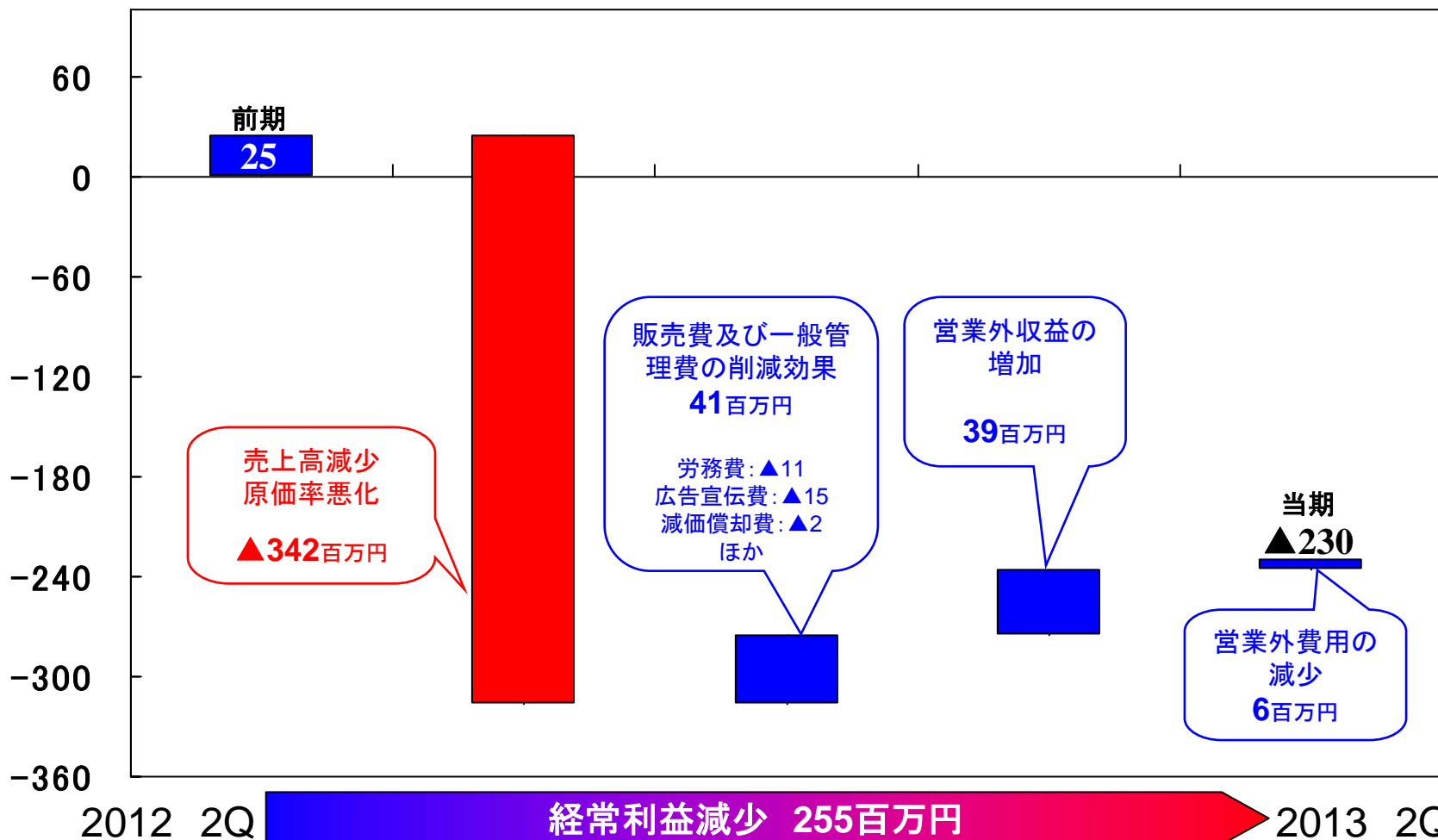
2011年度期末に太陽光発電関連の受注額を電子・その他装置より控除しております。

# 経常利益の増減要因分析

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』

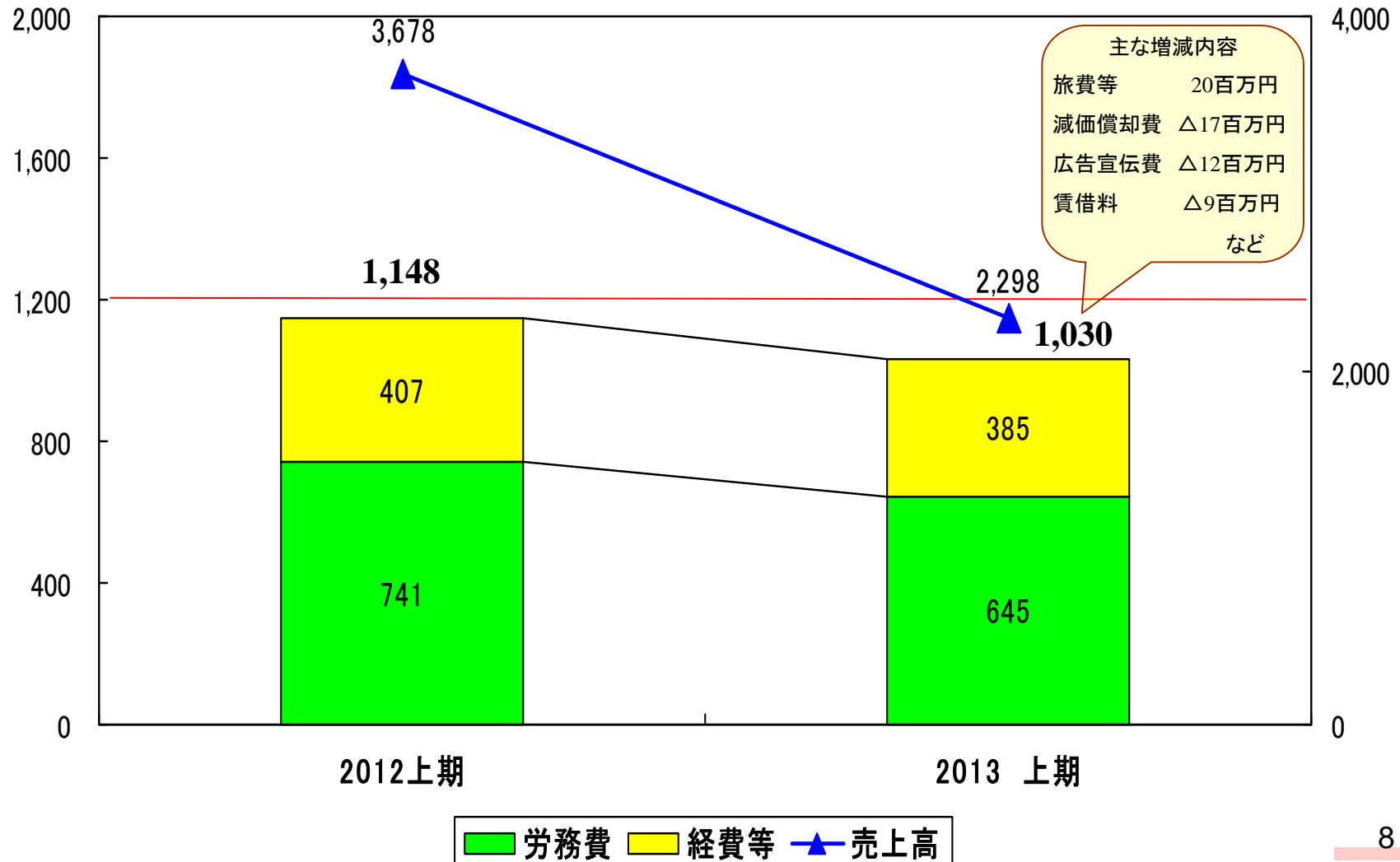


(単位: 百万円)



# 固定費及び売上の推移 (単体)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』





# 貸借対照表 (連結)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



(単位: 百万円)

	2012期末	2013 2Q末	増減額	主な増減要因
資産合計	9,921	8,926	▲995	
流動資産	6,779	5,788	▲991	受取手形及び売掛金 ▲1,395 現金及び預金 273 たな卸資産 255 繰延税金資産 ▲64
固定資産	3,141	3,137	▲4	有形固定資産減価償却等 ▲15 無形固定資産 6
負債合計	4,387	3,713	▲673	
流動負債	2,795	2,092	▲702	支払手形及び買掛金 ▲689
固定負債	1,592	1,621	29	長期リース債務 19
純資産合計	5,534	5,212	▲321	

借入依存度 14.2%

自己資本比率 58.4%

固定比率 60.2%

# キャッシュ・フロー計算書 (連結)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



(単位:百万円)

	2012 2Q	2012 2Q	主な要因
営業活動によるキャッシュフロー	385	259	税金等調整前四半期純利益 ▲230 売上債権の減少 1,444 仕入債務の減少 ▲766 たな卸資産の増加 ▲180
投資活動によるキャッシュフロー	▲2	▲0	
財務活動によるキャッシュフロー	▲288	▲3	短期借入金の純増減額 70 配当金の支払額 ▲61 リース債務返済の支出 ▲12
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	17	
現金及び現金同等物の増減額	96	272	
現金及び現金同等物の期首残高	1,241	942	
現金及び現金同等物の期末残高	1,337	1,215	

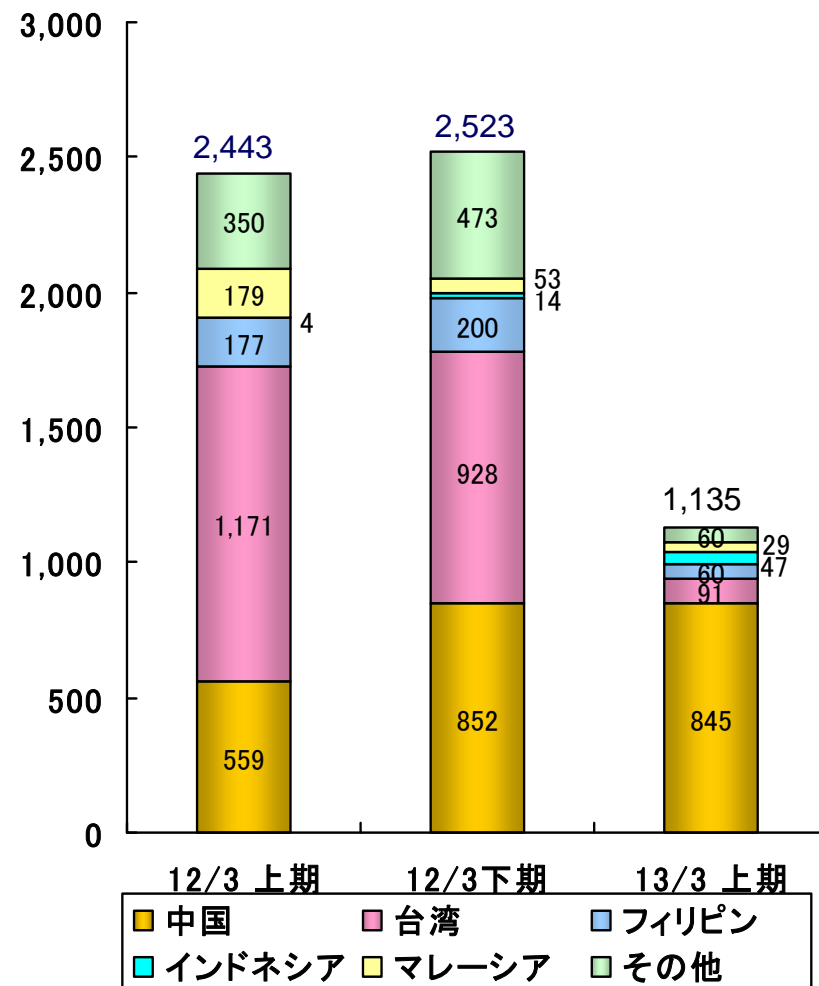
# 輸出先国別売上高推移 (単体)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



(単位:百万円)

	2012 上期	2012 下期	2013 上期
中国	559	852	845
台湾	1,171	928	91
フィリピン	177	200	60
インドネシア	4	14	47
マレーシア	179	53	29
その他	350	473	60
合計	2,443	2,523	1,135
輸出割合	66.4%	64.2%	49.4%



## 売上高大幅減により固定費カバーできず

- ① 水晶デバイス市場の設備投資が低迷
- ② ユーザーの光学部品完成まで対応⇒手離れ悪し
- ③ 中国向け光学用真空蒸着装置の利益率悪化
- ④ 新規市場に拡販するも成果はまだ出ず



## Ⅱ 業績の見通し及び今後の展望

---

- ① 自動車関連など アベノミクス効果あり
- ② スマートフォン市場は中級機を中心に拡大傾向
- ③ 水晶デバイス市場 稼働率高いが増産投資に慎重
- ④ 次年度に向けての引合いが増加

# 2013年度通期業績予想 (連結)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



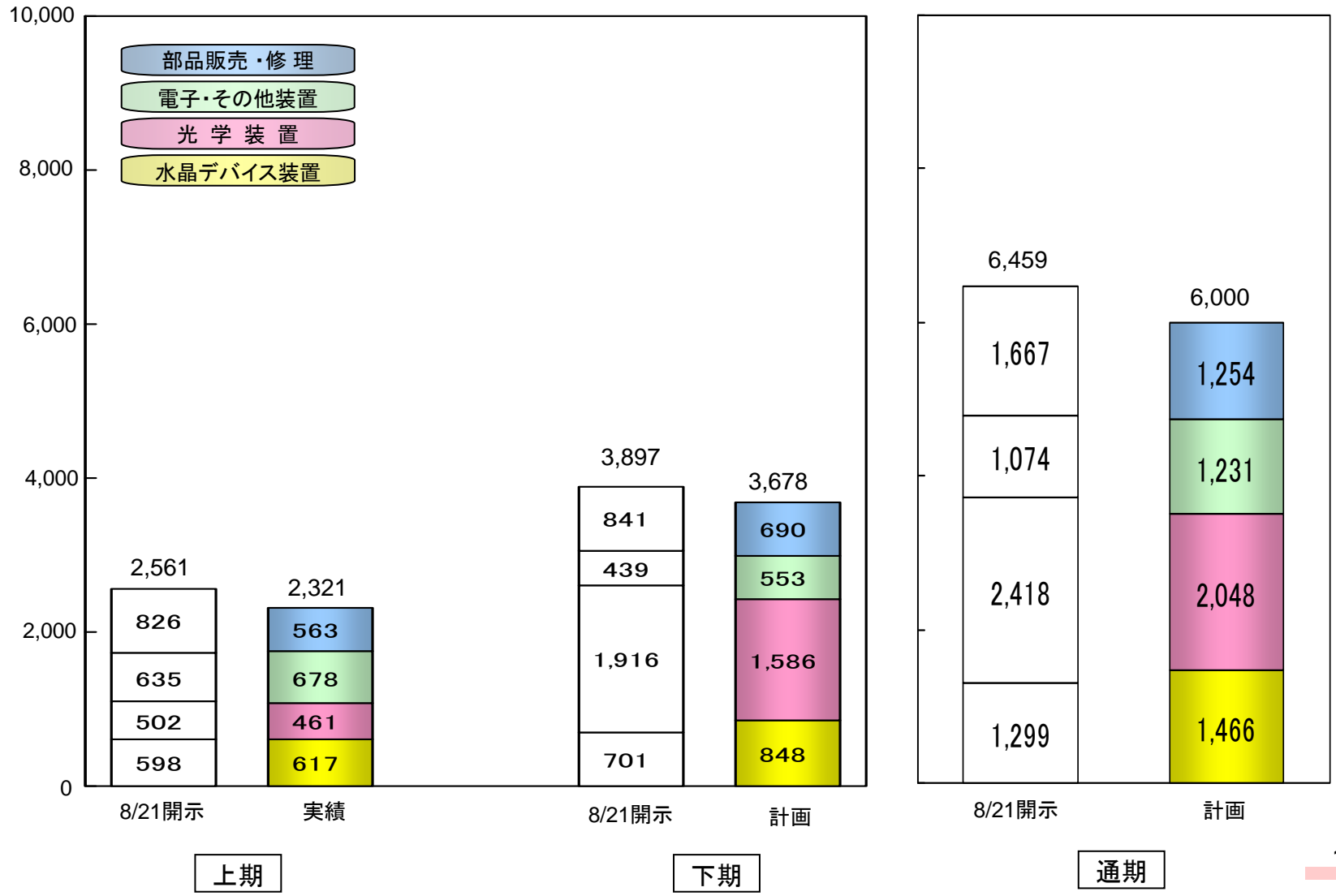
(百万円)	2013年度			前回 予想 (8/21開示)	前年 実績
	上期実績	下期計画	通期 予想 (11/13開示)		
売上高	2,321	3,678	<b>6,000</b>	6,459	7,521
営業利益	△262	△192	<b>△454</b>	△112	10
経常利益	△230	△189	<b>△419</b>	△86	47
当期純利益	△333	△181	<b>△514</b>	△132	69

# 上期実績と通期予想（売上） 連結

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



(単位: 百万円)



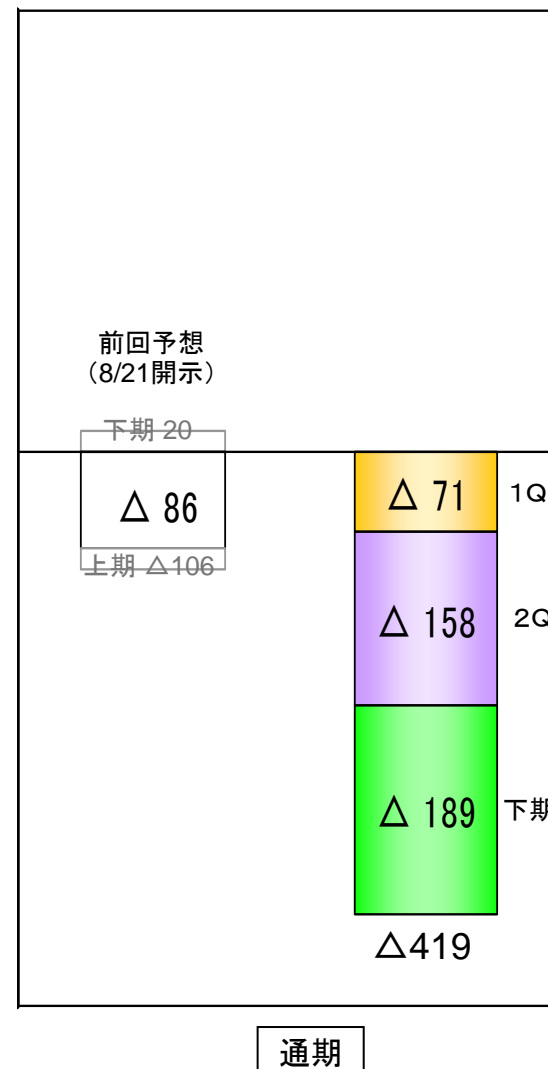
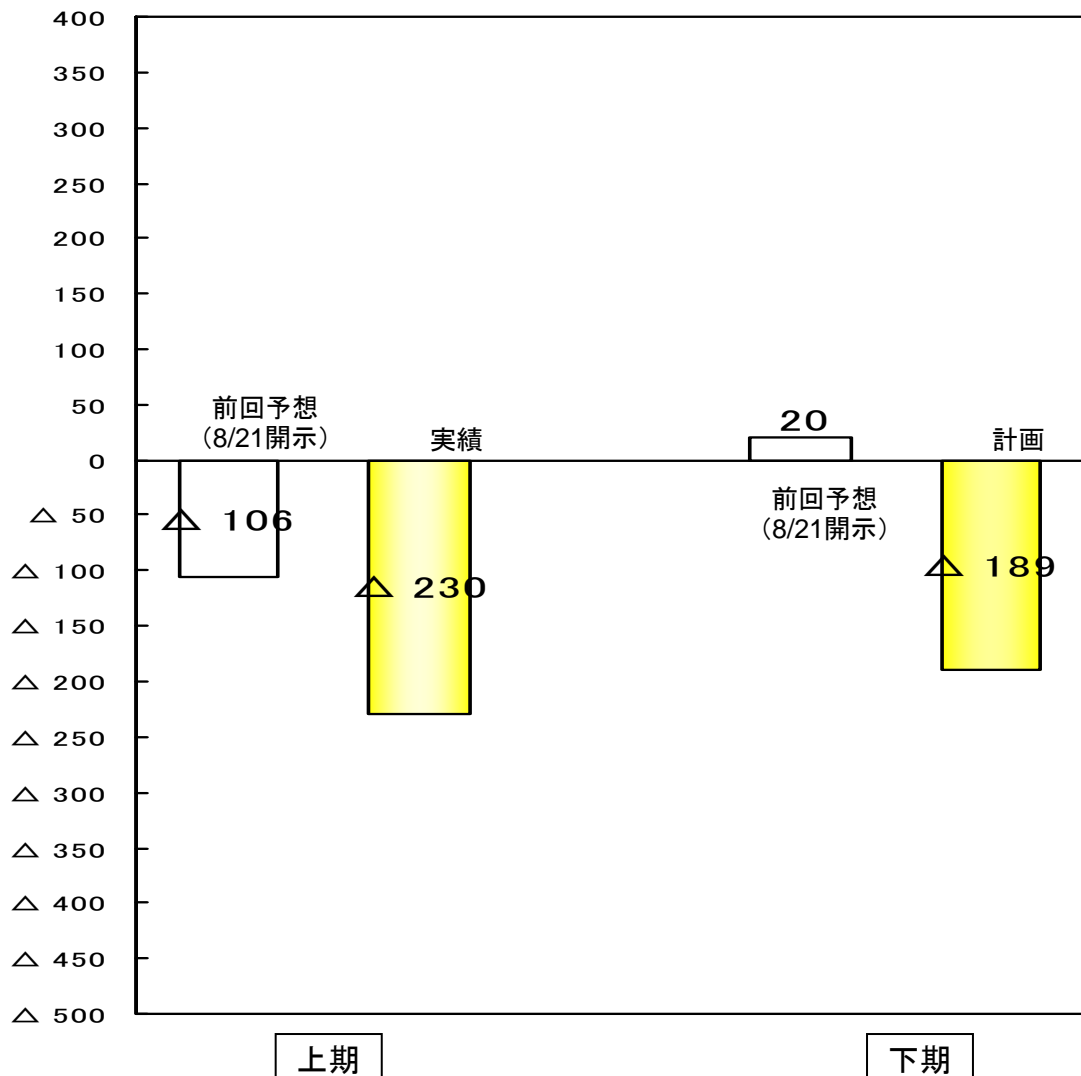


# 上期実績と通期予想（経常利益） 連結

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



(単位: 百万円)



# 2013年度 下期施策

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



- ① 市場ニーズに対応した  
新型装置の投入による受注拡大
- ② 中国・台湾市場への販売の強化
- ③ さらなるコストダウンの推進
- ④ 品質向上にむけて「お客様に笑顔を！」作戦の実行
- ⑤ さらなるスリム化

本日はありがとうございました

---



株式会社 昭和真空  
SHOWA SHINKU CO., LTD.